

上下水道部の方針書

部 名	上下水道部
部長名	伊勢谷 篤

1. 部の使命(ありたい姿)

安全な水道水を安定供給するとともに、生活排水の適正な処理により公共用水域の水質保全に努め、健全な水循環を構築する。	
担当政策	政策5:暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
担当施策	5-5:安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理

2. 部の抱える課題(現状)

<ul style="list-style-type: none"> ・給水人口・排水処理人口の減少などによる収益の低下 ・効率的な運営を図るために必要な施設の統廃合や規模縮小などの合理化 ・経年劣化による運転効率の低下や破損事故の発生を抑制するための計画的な設備更新 ・環境の変化による水源の不安定化への対応 ・気候変動による大雨を想定した雨水排水対策
--

3. 今年度の『スローガン』

安全で快適な水環境を次の世代へ

4. 今年度の方針

<ul style="list-style-type: none"> ・上下水道事業の財務基盤の強化および経営の安定化を進めます。 ・施設の統廃合や遠隔監視の強化により、維持管理の効率化を図ります。 ・近隣市町村との連携による給水および生活排水処理の安定化を推進します。 ・内水氾濫への対応を強化し、安心・安全な生活環境の構築を目指します。
--

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	経営の効率化と安定化
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・上下水道事業のDX化に向け水道スマートメーター検針の導入のためのスケジュール及び方針決定 ・水道料金改定に向けた料金体系の検討 ・水道料金徴収業務委託の次期契約のための要求水準書の作成及び提案上限額の算定 ・安定した上下水道事業継続のための庁舎移転に関する調整及びスケジュール案の作成
(2)	実現したい成果	水道施設の効率化と安定化のための整備及び連携
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・浄水場統廃合による施設管理運営の効率化及び浄水監視の強化 ・広域連携の推進(西和賀町との共同利用、広域化推進座談会の活発化) ・漏水調査による漏水箇所の早期発見・早期復旧
(3)	実現したい成果	生活排水処理施設の再編・強化と雨水排水路(都市下水路)の機能保全
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新大森浄化センターの供用開始による効率化 ・農業集落排水事業強靱化型による処理機能保全と強化 ・内水浸水想定区域図の作成(公共下水道区域内) ・横手市公共下水道事業計画見直し(都市下水路の公共下水道事業への位置付け) ・下水道ストックマネジメント計画の策定に向けた生活排水処理事業等補完組織との連携の模索

6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

(1)経営の効率化と安定化

- 水道スマートメーター導入に向けφ50mm以上の導入年次計画書を作成し取扱事業者にRFIを実施し、発注仕様を決定した。
- 水道料金改定に向けた料金体系の検討にあたり基礎データ(口径別有収水量等)の収集と改定スケジュール案を作成した。
- 水道料金徴収業務委託の次期契約準備として、業務量の把握、参考見積徴収、公募型プロポーザル実施要領等を作成した。
- 庁舎移転に関する調整等、庁舎移転に向け市長部局との協議を実施した。

(2)水道施設の効率化と安定化のための整備及び連携

- 浄水場統廃合による施設管理運営の効率化等浄水場内配水池工事は屋根工事が冬季になるため、品質確保にむけた検討を進めている。PFASについては、水質検査計画に基づき検査を実施済み。
- 広域連携の推進(西和賀・座談会)繰越含む工事は年度末完成に向け推進中。また、2回目の座談会を企画中である。
- 漏水調査による漏水の早期発見・早期復旧 横手・平鹿醍醐地区を対象に現時点で46件の漏水を発見済み。

(3)生活排水処理施設の再編・強化と雨水排水路(都市下水路)の機能保全

- 新大森浄化センターの供用開始による効率化 水槽部の漏水補修については完了している。
- 農業集落排水事業による処理機能保全と強化 補助事業・強靱型(川西積算業務・マンホール蓋等・汚泥乾燥施設改修)と上溝地区積算業務委託については、発注済みであり、施工中。
- 内水浸水想定区域図の作成(公共下水道区域内) 雨水出水浸水想定区域図は、委託業務を発注済み。
- 事業計画見直し(都市下水路の位置付け) 公共下水道事業計画(雨水)を委託発注済み。
- 下水道ストックマネジメント計画の策定に向けた連携 策定計画及びスケジュール等について、広域補完組織と情報交換中である。

7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

(1)経営の効率化と安定化

- 水道スマートメーターの本格導入に向けた契約手続きと来年度分の取付箇所を選定。
- 水道料金改定に向けた料金体系の検討にあたり、令和5年度末決算及び令和6年度決算見込みによる総括原価計算に基づく料金改定率の試算と料金改定(原案)の検討を行う。料金改定に向けた合意形成(議会・経営協議会への協議)を進める。
- 水道料金徴収業務委託の次期契約の準備として徴収業務委託の提案上限額の設定と公募型プロポーザル実施に向けた準備を進める。
- 庁舎移転に関する調整として庁舎移転に向けた市長部局との協議を継続する。

(2)水道施設の効率化と安定化のための整備及び連携

- 浄水場統廃合による施設管理運営の効率化として、屋根工事の冬季施工に関する工程調整と来年度以降の浄水場プラント工事の発注形式等の早期決定を行う。
- 広域連携の推進(西和賀・座談会)について、通水式等の準備と2回目の座談会の実施を目指す。
- 漏水調査による漏水の早期発見・早期復旧を目指し、漏水修理を実施する。

(3)生活排水処理施設の再編・強化と雨水排水路(都市下水路)の機能保全

- 新大森浄化センターの早期供用開始を目指し、新旧浄化センターの切り替えがスムーズに行えるよう事前準備作業を進める。
- 農業集落排水事業による処理機能保全と強化について、発注済みの工事の今年度中の完成を目指す。
- 内水浸水想定区域図の作成(公共下水道区域内)について、次年度分の委託範囲の決定と事前準備を進める。
- 事業計画見直し(都市下水路の位置付け)について、今年度業務と合せる汚水計画の策定準備を進める。
- 下水道ストックマネジメント計画の策定に向け、広域補完組織との協議を踏まえ、予算確保を目指す。

8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

(1)経営の効率化と安定化

- 水道スマートメーター導入については、当年度は無線端末設備30台設置、次年度取付予定無線端末設備33台を購入した。
- 老朽化に伴う水道庁舎移転に向けた市長部局との協議を実施、情報収集を行った。
- 料金算定に用いる基礎データ収集(口径別有収水量など)し、改定作業中の料金算定基準の情報収集に努めた。
- 次期料金徴収業務委託契約のための業務量把握、参考見積徴収、公募型プロポーザル実施要領、配点基準を作成し、次年度徴収業務委託事業者の選定に向けた準備が概ね完了した。

(2)水道施設の効率化と安定化のための整備及び連携

- 雄物川浄水場関連築造工事について 配水池築造工事(その2)は、繰越になったが、3月中に屋根工事を再開する。令和7年度の発注形式と工事費は確定した。また、未普及地区解消工事も3月中に舗装工事を終え、予定通りの完了となる。
- 西和賀町との広域連携事業について、負担金算定運用書の作成は完了し、双方合意している。また、通水式は、年度末までに概要を固める。
- 漏水調査による漏水の早期発見・早期復旧については、漏水の箇所を複数発見・即修理し、夜間最小流量の改善を図った。寒波や火事による影響から全体有収率の改善(0.5%)が現時点で見通せていないものの、来年度の調査予算も確保し、粘り強く対応していく。

(3)生活排水処理施設の再編・強化と雨水排水路(都市下水路)の機能保全

- 公共下水道については予定箇所の工事を完了し翌年度で事業の概成を目指す。